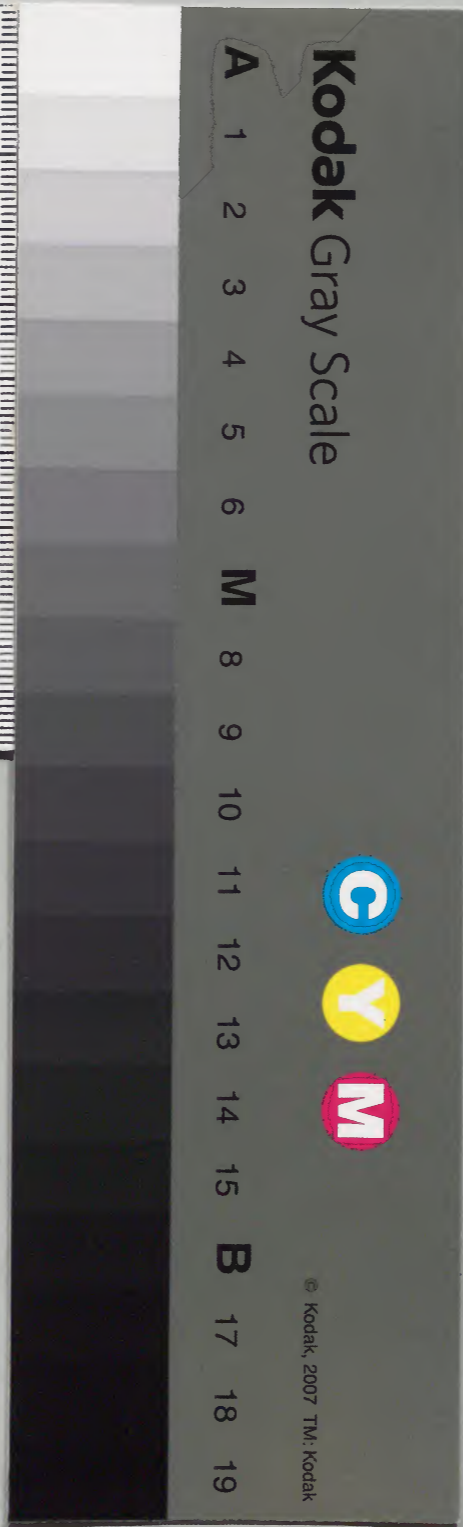


天保雜記

六

內閣文庫	
函架	冊
一五〇	二一
三	五
一七三九	三九
號	號
和	書

內閣文庫	
番號	和 31729
冊數	55 (6)
函號	150 150



天保五雜事錄目錄



- 一 三 土丹能登弓川分損毛山篇
- 二 松平丹波弓川分内燒失山篇
- 三 松平直江弓人教浪花出火瓦出山篇
- 四 一浪花教燒書付
- 五 内府振助揚野 山成ノ市山道第
- 六 神吾山系秤改ノ山篇
- 七 里娘君梅山道去
- 八 湯飯代法列代 山根ノ市山道第
- 九 松平甲斐弓川後紀伊弓上納金
- 十 不ノ大名瓦石番替列名
- 十一 湯内務氏活地款



- 一十二 大久保今補碑
- 一十三 杉平出羽守東來山の志取山門の巻子付
- 一十四 水野出羽守野馬江他領の紙付何の附札
- 一十五 尾列梅山院長持大綱の任の付
- 一十六 水戸梅山妾腹の巻
- 一十七 知恩院宮吹上り巻の一枚の付録草
- 一十八 佐列出火
- 一十九 甚右馬の金入タレ壺出タレの巻
- 二十 知恩院宮東殿山の上使の巻の付
- 二一 柳宗祐中書組の刀の一件何の附札
- 二二 天保五年八月三日法宗人の巻の一件
- 二三 法花八構

- 二四 河野山傳子下巻の付録
- 二五 古方巻の付録
- 二六 安房守の巻の上
- 二七 岩立母高年三成
- 二八 戸川波之助知杉損毛
- 二九 杉平右近将監持家刀付の付
- 三十 富士山崩の巻の付録
- 三一 津輕越中守風巻
- 三二 天保四唐人共風鏡書和解
- 三三 細川越中守杉平河野守下活の事
- 三四 本多源三少将の何の附札
- 三五 加納守の巻の付録

- 一六 天保五河蘭院人風玩書和解
- 一七 久留保伊藤寺句
- 一八 後永保多密通也答問合
- 一九 火元落をよ可解
- 二〇 桑之元時持下可解
- 二一 和田左五右史長屋三信句當出火之序可解
- 二二 石野助方吏部中
- 二三 從水戸^{有徳院後}以禮儀類典進献
- 二四 唐館唐洋ノ城主ト餐京執立
- 二五 松若左邊知川石金堀出シノ歌并ト仁濟
- 二六 諸米相傳
- 二七 曆板以ノ元牙也解

- 一四八 風烈シ帝火の初心也解
- 一四九 屋屋搦使也足袋一件
- 一五〇 松平源七命也杖持方解
- 一五一 西丸少十人何某家内一回出奔
- 一五二 駿河出火
- 一五三 弘坊頼篤搦實牙長款
- 一五四 本竟和款
- 一五五 朝鮮王城燒好字討馬子下也解款
- 一五六 土辺果上石也出火也解
- 一五七 屋利公也昇進
- 一五八 松平右邊也松平上総外下也進
- 一五九 船店也ぬいと条牙也解

- 一六十八 北人劫貫年所觸 二通
- 一六一 火之元之所觸
- 一六二 永娘君採中川抄書所觸
- 一六三 松平之所守お信金
- 一六四 夢海屋使在書分出火
- 一六五 館商買分所觸
- 一六六 水野鐵希多屋在所出火中觸
- 一六七 宮崎平四郎屋敷分金屋出タル風説
- 一六八 天保五驛河出火分所觸書上
- 一六九 富安九八市所書分任屋
- 一七十 唐津之元火筆古銘入タルヲ堀出ス

三 私領分被為思大連五月十八日雨降積り而進了大雨の如
 同九日雨の進り白大風向ふ所川々分仕真船川筋平
 水が或丈五分平水場池田川筋平あり或丈作り水指平平
 川々枝川進満あり平川除野を損去り切道損江縁切
 用水江筋平抄押込川流田相水込石入川分流地出莫古有
 不之券家居分所にお水門急場名に有之妻為義と不知不
 中の流流互所中紙と有之破損不并損色言人救護我あり
 候と未お知不中り有進り中布中中り中凡先公辰中布中一と定
 七ノノ旨
 土井徳忠書

一 訃 先達与西暦一々私立名依明抄中檢下本町より高月二
 曉上刻出火及大火同日辰中刻出流中刻流之是
 一本町所取火元